

長野県「SDGs未来都市」計画（概要）

長野県企画振興部総合政策課

しあわせ信州創造プラン2.0
(長野県総合5か年計画 2018年度～)

< 県の総合計画にSDGsの考え方がビルトイン >

- ✓ 概ね2030年の将来像を実現するための今後5年間の行動計画
- ✓ SDGsの達成に寄与するもの

【長野県の特長】

- ・豊かな自然環境
- ・多様な個性を持つ地域
- ・自主自立の県民性
- ・全国トップレベルの健康長寿
- ・大都市圏からのアクセスの良さ

【基本目標】

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

「確かな暮らし」:「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方にも呼応
「美しい」:豊かな自然や農山村の原風景などの美しさ

【2030年のめざす姿】

- ・学びの県
- ・産業の生産性が高い県
- ・人をひきつける快適な県
- ・いのちを守り育む県
- ・誰にでも居場所と出番がある県
- ・自治の力みなぎる県

持続可能な地域づくり

学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」

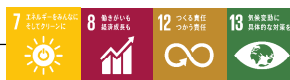
ステークホルダーが主体的に学び、協働しながら地域の課題解決に取り組み、多様な地域の個性を活かす自立・分散型社会をめざす。

< 優先的に取り上げるゴール >



誰もが学べる環境づくり

- 信州子どもカフェの普及拡大
- 長野県立大学によるリカレント教育、イノベーターの養成
- 学びのエコシステムの構築
- 日本みどりのプロジェクトの推進
- 諏訪湖創生ビジョンの推進
(諏訪湖環境研究センター(仮称))



地域内経済循環の促進

- エシカル消費の促進(県内小売店と連携した取組等)
- 食育の推進(県産農畜産物・郷土食)
- 県産材の活用促進
- 信州プラスチックスマート運動の推進
- 再生可能エネルギー100%地域実現



快適な健康長寿のまち・むらづくり

- 自家用車に頼らない地域づくり、自転車の利用促進
- 信州健康エコ住宅の普及促進
- UDC信州によるまちづくり・まちづかいの促進、グリーンインフラの整備推進
- 健康経営の普及促進



豊富な自然エネルギー資源を活かしたエネルギー自立・分散型モデル地域の形成

- 太陽光発電の普及拡大
- 小水力発電のポテンシャルの見える化
- 企業局水力発電の地域貢献・連携
- 木質バイオマスの利用拡大
- 長野県ゼロカーボン基金による支援
- 製品開発プロジェクトの創出

推進体制

執行体制

- ・知事をトップとする部局長会議で推進
- ・ステークホルダーとの連携により取組を推進

ステークホルダーとの連携

- ・包括連携協定による民間企業・大学との連携
- ・市町村・公共的団体との協働 等

自律的好循環の形成

- ・SDGs推進企業登録制度の普及拡大と企業間の交流・マッチングの促進
- ・グリーンボンドの発行